

# 商工観光部

## 平成28年度 重点目標

- 1 地方創生に向けた地域産業の活性化
- 2 地方創生に向けた創業支援と企業誘致・留置の推進
- 3 UIJターン促進と若者等定住に向けた就職支援と人材育成の推進
- 4 大河ドラマ「真田丸」や多様な観光資源の活用と広域連携による観光振興
- 5 中心市街地の活性化と中心商店街への回遊促進

重点目標		地方創生に向けた地域産業の活性化		部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 1 上田で働きたい戦略  【施策体系】 地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興	2014市長マニフェスト	における位置付け	- 1 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進					
現況・課題	・経済、雇用を牽引する基幹産業である製造業の技術力の集積とA R E Cを拠点とする産学官連携の取組みが特徴であり強みでもあります。このためA R E Cを中核とする各種産業支援機関との連携により、次世代に向けた工業活性化の取組みを進め、しごとづくり及び雇用の確保を図ることが必要となります。また、経済のグローバル化に伴い、大手メーカーの海外現地生産化等が進んでいる中、下請け企業は生き残りをかけ、販路拡大や研究開発型企業へと展開を図る必要があるため、幅広く、かつ、きめ細かな企業支援が求められています。						
目的・効果	・広域連携による他市町村の多種多様な企業間の連携を推進し、地域経済の足腰を強くするとともに、既存産業の維持確保のみならず、次世代へとつながる新たな産業創出の支援、並びに雇用の創出を図ります。 ・販路開拓や農商工連携による6次産業化などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。また、中小企業の資金繰り支援である制度融資について、企業ニーズや経済情勢を踏まえたうえで弾力的に運用することで、中小企業のセーフティネットを充実します。 ・地域経済や雇用に関する関連機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを策定することで伴走型の商工業支援を図ります。						
	取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
	広域連携による次世代産業創出支援 (1)連携市町村による推進体制の整備  (2)次世代産業創出に向けた事業の推進	(1)5月  (2)4月～3月	(1)協議会及び広域連携による次世代産業推進母体である[東信州]次世代イノベーション（仮称）の設立（5月） (2)事業推進に向けた戦略会議（4回） リーサスによる広域産業分析 地域企業の人材育成のための研修・講習会（通年）	(1)東信州次世代産業振興協議会連携協定調印式実施及び東信州次世代イノベーションセンター設置（7月5日） (2)事業推進に向けた協議会開催（7月5日） リーサスによる産業分析開始（8月） 東信州で技術展示会1回（参加者129名）、セミナー1回（戦略分野の業界動向）	(1)東信州次世代産業振興協議会連携協定調印式実施及び東信州次世代イノベーションセンター設置（7月5日） (2)事業推進に向けた戦略会議（11月16日） 事業推進に向けた担当者会議（12月14日） リーサス勉強会4回延68人 人材育成講演会9回延862人、セミナー8回延180人 技術展示会2回139社280人		
	意欲ある中小企業に対する支援の充実 (1)各企業の産業展等出展支援、並びに商工団体等との連携による販路開拓の支援  (2)農商工連携等に対する支援の充実 (3)金融機関と協調した融資の強化 (4)ものづくり企業相談体制の充実	(1)4月～3月  (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月	(1)販路拡大補助金による支援の実施（10件以上）、3商工団体連携による共同出展の実施（2回以上） (2)イベントの開催（1件） (3)融資実行300件 (4)販路拡大等に向けた専門家派遣相談企業数（10社）	(1)販路拡大補助金による支援は10件実施した。 3商工団体連携による共同出展（機会要素技術展）（1回） (2)農商工連携イベント（スイーツコンテスト）10/15開催 (3)融資実行件数136件 (4)専門家派遣数0社	(1)販路拡大補助金による支援28件 3商工団体連携による共同出展（機会要素技術展）（1回） (2)農商工連携イベント（スイーツコンテスト）を開催 (3)融資実行件数293件、産金官連携推進事業による新分野進出等支援3件 (4)専門家派遣数3社7回、国・市の補助金採択企業数16社		
	関係機関との連携等による実態把握及び支援 (1)経営支援や雇用支援に係る関係機関との連携を図るために地域雇用合同連絡会議を開催 (2)経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握の充実 (3)メールマガジンなどによる情報発信の充実 (4)商工業者のための支援プランの策定	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月	(1)地域経済雇用合同連絡会議の開催（4回） (2)経営実態調査の実施（2回）  (3)メールマガジンの発行（月2回以上） (4)商工業振興プラン策定	(1)地域経済雇用合同連絡会議開催（2回） (2)経営実態調査実施（1回） (3)メールマガジン発行（月2回） (4)業者選定後、11月プロポーザル実施予定。	(1)地域経済雇用合同連絡会議開催（4回） (2)経営実態調査実施（2回） (3)メールマガジン発行（24回） (4)商工業振興プランの策定（調査分析業務完了3月）		
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点			取組による効果・残された課題			
	・既存産業を衰退させることなく、雇用の維持確保、並びに新たな産業（しごとづくり）による雇用の創出が期待できる。			・東信州広域連携事業については、29年度は専属コーディネータを配置するなど支援体制が整備されることから、着実な事業推進と新産業創出のための分野別研究会の立ち上げを目指す。			

重点目標		地方創生に向けた創業支援と企業誘致・留置の推進		部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 起業・創業支援と中小企業の経営力強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 1 上田で働きたい戦略  【施策体系】 若者等の多様な働き方の支援 多様な産業の集積促進		2014市長マニフェスト  における位置付け	- 1 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(2) 支える財政基盤の改革 ア 歳入の確保					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方創生を推進する上では、仕事を作り・雇用機会の拡大を図る施策を推進していくが重要となります。</li> <li>そのためには、民間活力を高め、若者など起業しやすい環境を整えることや、地域特性を活かした様々な産業が集積し成長する必要があります。</li> <li>地域労働力の担い手として女性の社会進出も喫緊の課題であります。</li> </ul>						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業支援や首都圏等からの創業者の誘致を行い、市内企業と創業者とのコミュニティ形成による異業種交流を推進し、新たな商品・産業の創出を目指します。</li> <li>工場誘致など雇用の創出や税収増による市内経済の活性化のみならず、市内製造業の高度化に寄与する研究機関や本社機能などの誘致を推進することで、市内企業活動の活性化を図ります。</li> </ul>						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
産業競争力強化法に基づく創業支援 (1)創業プラットフォーム構成団体と連携した創業支援の推進 (2)コワーキング施設を活用した異業種連携による創業支援 (3)コワーキング施設を活用した女性の社会進出支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)創業プラットフォームでの相談件数200件（通年） (2)首都圏等からの誘致（通年） (3)研修により女性のスキルアップを向上（就業数10人）（通年）	(1)創業プラットフォームでの相談件数122件 (2)IT企業のサテライトオフィス誘致1件 (3)スキルアップ研修により就業実現3人	(1)創業プラットフォームでの相談件数222件（116人）、創業（27人） (2)首都圏からの起業家誘致（3件） (3)スキルアップ研修（54回、645人）後の就業数10人、女性創業スクール（20回、参加者58人、創業4人）			
産業立地の優位性を活かした企業誘致・留置の推進 (1)企業からの情報収集及び行政等からの情報提供 (2)国・県からの企業動向情報収集及び空き工場等の情報提供 (3)定住自立圏構成市町村と連携した企業誘致の推進	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)製造業の事業所訪問を200社以上による情報交換の実施（通年） (2)国や県の東京、名古屋、大阪事務所との情報交換を実施（5回） (3)展示会等への合同出展（2回）	(1)製造業の事業所訪問112社 (2)県東京事務所との情報交換（5/11）、県東京事務所及び県内市町村との意見交換会（7/26） (3)展示会への合同出展（5/19～20）	(1)製造業の事業所訪問347社 (2)県の東京事務所を中心に情報交換5回 (3)展示会への合同出展2回、工場建設等の意向調査実施（147社）			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点  ・新規創業者や女性の社会進出の支援を図り、地域経済に多様性を持たせることで活性化を図ります。 ・企業誘致を推進することで、税収確保を図り、市民の福祉向上につなげます。		取組による効果・残された課題  ・女性の社会進出の仕組み作りを行っているコワーキング施設は、確実な成果を達成してきている。運営団体への補助を継続するとともに自立を促す。 ・企業誘致について、市内外から用地等の問合せが前年より倍増したが、民間空き工場等の紹介ではミスマッチが多いため、工業団地造成の検討及び着手。				

重点目標		UIJターン促進と若者等定住に向けた就職支援と人材育成の推進		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと雇用創出	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 1 上田で働きたい戦略  【施策体系】 人材育成・雇用マッチングの拡充	2014市長マニフェスト	における位置付け	- 1 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の雇用環境は、ハローワーク上田管内(3月)の有効求人倍率が1.27倍となる等、堅調に推移しています。しかし、安定した職業に就けない若者等求職者も見受けられ、引き続き、就労支援施策の一層の充実が求められています。</li> <li>人口減少対策(地方創生)が喫緊の課題である中、移住の重要なポイントとなる仕事探しに対する積極的な支援が必要となっています。</li> </ul>						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者と連携した「UIJターンと若者定住就職支援事業」の実施により、首都圏等の移住希望者の就職支援を通じて、移住しやすい環境を整えるとともに、地域若者等を安定した正規雇用に結びつけ、市内定住を促します。</li> <li>上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒求職者に対し、合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供し、一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。</li> <li>専門員による労働・就職相談や求職者支援・職業能力開発等各種セミナー開催、職業訓練センターへの支援を通じて、職種や能力・技能のミスマッチを解消し、円滑な雇用マッチングを図り、雇用の維持・安定につなげます。</li> <li>勤労者の住宅建設や生活資金への支援や勤労者互助会への支援により、勤労者の福祉の向上を図り安心して働ける環境づくりに努めます。</li> </ul>						
取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	中間報告(目標に対する進捗状況・進捗度)	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)			
民間人材派遣会社との連携によるUIJターンと若者定住就職支援事業 (1) UIJターン希望者の地域企業就職支援 (2) 就職困難な地域若者人材育成・就職支援	(1) 5月～3月 (2) 5月～3月	(1) 就職相談100人・お試し就業10人 (2) 正規雇用20人	公募プロポーザル方式により委託者を決定し事業を開始。 (1) 9月末までに22人の就職相談に応じ1人移住内定を得た。 (2) 9月から、就職困難な若年者(第1期生9人)が正規雇用を目指して研修に取り組んでいる。	(1) 移住希望者就職相談件数112人(うち採用・就職内定者14人)、お試し就業(職場見学含む)7人 (2) 18人の研修生のうち、正規雇用者17人			
若年者の就職支援 (1) 学卒者就職面接会の開催 (2) 学生就職支援フォーラムの開催 (3) 学卒者募集企業に関する情報発信 (4) 学生の職場体験及び事業所訪問の実施 (5) 若年者の就業・社会復帰支援	(1) 4月～3月 (2) 10月 (3) 4月～3月 (4) 6月～2月 (5) 4月～3月	(1) 就職面接会5回、ガイダンス1回 (2) 100人参加 (3) 首都圏等の大学等 650校に企業情報誌を配布、HPによる情報発信 (4) インターンシップ事業150人 事業所見学会 350人 (5) 就業支援セミナー4回、就職困難若者カレッジによる就職等 25人	(1) 就職面接会2回(7月8日・8月29日)開催した。参加者231人、参加事業所138社 (4) インターンシップ事業135人(高校生127人、大学生8人) 事業所見学会 高校生296人 (5) 就業支援セミナー2回開催した。就職困難若者カレッジ 59人実施し、8人を就労に導いた。	(1) 就職面接会4回(7月・8月・11月・2月:393人)ガイダンス1回(3月:77人) (2) 48人参加 (3) 首都圏等の大学等に企業情報誌を配布(646校)HPによる情報発信(アクセス数3,019件) (4) インターンシップ事業135人 事業所見学会319人 (5) 就業支援セミナー5回開催(97人) 就職困難若者カレッジによる就職等14人			
教育委員会との連携によるものづくり人材育成支援 (1) 上田市ものづくり・キャリア教育推進検討委員会の開催 (2) 製造業職場体験に関するアンケートの実施及び調査 (3) 親子会社見学会、ものづくり体験教室の開催 (4) 上田地域高等職業訓練センターとの連携	(1) 6月～8月 (2) 7月～8月 (3) 5月～3月 (4) 7月～3月	(1) 会議1回 (2) 市内三商工団体加入企業 受入可能件数の確認(1回) (3) 夏休み等各1回 (4) 中学生ものづくり体験受入支援(30人)	(1) 従来の委員会を見直すため検討中 (2) 製造業事業所に対しアンケートを実施し、ものづくり・キャリア教育の必要性と職場体験受入の可否を調査(212件) (3) 親子会社見学会7月～8月にかけて開催(7社で参加人数123) ものづくり体験教室1回開催 (4) 中学生ものづくり体験受入支援 20人	(1) 実践的な連携体制を検討(会議2回) (2) 製造業事業所に対しアンケートを実施し、ものづくり・キャリア教育の必要性と職場体験受入の可否を調査(212件) (3) 親子会社見学会7月～8月にかけて開催(7社で参加人数123) ものづくり体験教室2回開催 (4) 小中学生ものづくり体験受入支援 26人			
求職者・勤労者のスキルアップと企業の人材育成等支援 (1) 再就職支援(パソコン)セミナー (2) 仕事の探し方講座 (3) 定年退職前後の手続きセミナー	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 7月～3月	(1) 24回開催(内容を充実) (2) 12回開催 (3) 5回開催	(1) 12回開催、150人参加 (ワードとエクセル編ともに初級コースに加え中級コースを創設し内容を充実) (2) 6回開催、67人参加 (3) 2回開催、25人参加	(1) 24回開催(247人参加) (ワードとエクセル編ともに中級コースを新設し内容を充実) (2) 12回開催(134人参加) (3) 5回開催(52人参加)			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>求職者の就職活動の多様化に対応し、ハローワーク等公的雇用推進団体だけでなく、NPO法人や民間職業紹介(人材育成)事業者と連携し、一層の就職支援の推進を図ります。</li> </ul>						

重点目標		UIJターン促進と若者等定住に向けた就職支援と人材育成の推進		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと雇用創出	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 1 上田で働きたい戦略  【施策体系】 人材育成・雇用マッチングの拡充		2014市長マニフェスト  における位置付け	- 1 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の雇用環境は、ハローワーク上田管内(3月)の有効求人倍率が1.27倍となる等、堅調に推移しています。</li> <li>しかし、安定した職業に就けない若者等求職者も見受けられ、引き続き、就労支援施策の一層の充実が求められています。</li> <li>人口減少対策(地方創生)が喫緊の課題である中、移住の重要なポイントとなる仕事探しに対する積極的な支援が必要となっています。</li> </ul>						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間事業者と連携した「UIJターンと若者定住就職支援事業」の実施により、首都圏等の移住希望者の就職支援を通じて、移住しやすい環境を整えるとともに、地域若者等を安定した正規雇用につなげ、市内定住を促します。</li> <li>上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒求職者に対し、合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供し、一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。</li> <li>専門員による労働・就職相談や求職者支援・職業能力開発等各種セミナー開催、職業訓練センターへの支援を通じて、職種や能力・技能のミスマッチを解消し、円滑な雇用マッチングを図り、雇用の維持・安定につなげます。</li> <li>勤労者の住宅建設や生活資金への支援や勤労者互助会への支援により、勤労者の福祉の向上を図り安心して働ける環境づくりに努めます。</li> </ul>						
	取組項目及び方法・手段(何をどのように)	期間・期限(いつ・いつまでに)	数値目標(どの水準まで)	D	期末報告(目標に対する達成状況・達成度)		
	求職者や勤労者のための支援の推進 (1) 求職、労働相談の実施 (2) 企業の雇用維持・雇用創出支援と地域雇用情勢に係る情報の収集 (3) 勤労者の福祉向上の事業の推進	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 専門の相談員により相談を受け、関係機関と連携して支援を実施(130件) (2) 事業所訪問数420件、アンケート実施 (3) 勤労者福祉センターと共同福祉施設の利用促進 生活資金貸付 30件 住宅建設資金融資 100件	(1) 専門の相談員により求職相談を受け、関係機関と連携して支援を実施(87件) (2) 事業所訪問数212件、地域雇用情勢に係るアンケート実施 (3) 勤労者福祉センターと共同福祉施設の利用促進 生活資金貸付 5件	(1) 専門の相談員による求職相談件数(143件) (2) 事業所訪問数 424件、アンケート実施 (3) 生活資金貸付 9件 住宅建設資金融資 161件		
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点  ・求職者の就職活動の多様化に対応し、ハローワーク等公的雇用推進団体だけでなく、NPO法人や民間職業紹介(人材育成)事業者と連携し、一層の就職支援の推進を図ります。			取組による効果・残された課題			

重点目標	大河ドラマ「真田丸」や多様な観光資源の活用と広域連携による観光振興		部局名	商工観光部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 誰もがいきいき動き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 3 訪れたい・住みたいうた戦略 【施策体系】 地域資源を生かした知名度アップと交流促進	2014市長マニフェスト における位置付け	- 1 - - 3 -	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>大河ドラマ「真田丸」をはじめ戦国武将ブームを追い風として、これまで真田氏の知名度を最大限活用した観光PRを実施してきた効果として、上田市への観光客入込数は確実に増加してきている状況です。</li> <li>しかしながら、観光による地域経済効果をより高めるためには、上田市を訪れた観光客の滞在時間を増やし、滞留型・宿泊型の観光地を目指す中で、外国人観光客の受入れ基盤整備等とともに、多くの観光客の方々にリピーターとなっていく必要があるものと捉えます。</li> <li>また、真田街道推進機構といった真田氏関連自治体や、長野市と松本市とのトライアングル連携、北陸新幹線沿線都市間連携等の広域的な相互連携による観光施策の事業展開が重要です。</li> <li>上田市の観光を牽引する組織としての上田観光コンベンション協会の主体的な事業活動が、今後更に求められるものと考えます。</li> </ul>					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>上田市ならではの真田ブランドを全面的にPRし、大河ドラマ「真田丸」をはじめとする様々な観光資源を活用した観光事業を展開させ、真田街道推進機構といった真田氏関連自治体や、北陸新幹線沿線都市等との広域連携、上田駅周辺自治体、定住自立圏での観光周遊ルートや滞在型観光地の構築等を図ります。</li> <li>北陸新幹線金沢延伸による北陸地域の国際空港との繋がりや、2019年ラグビーワールドカップ合宿地、2020年東京オリンピック・パラリンピック等に向けて、外国人観光客が訪れていただくための基盤整備を進めます。</li> <li>信州上田おもてなし武将隊や、首都圏方面での高速バス・ラッピングの有効的かつ効果的な活用を推進してまいります。</li> <li>観光施策の更なる推進のため、上田観光コンベンション協会組織体制強化に向けた取り組みの一環として、法人化を進めてまいります。</li> </ul>					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
真田氏関連自治体との連携 (1)真田街道推進機構等の真田氏関連自治体の活動 ア 真田氏ゆかりの自治体「真田フォーラム」の開催 イ 真田街道推進機構及び真田氏ゆかりの自治体でのスタンプラリーの実施等 (2)長野市との連携した取組 ア NEXCO東日本と連携した誘客の取り組み等	(1)-ア 4月 (1)-イ 通年 (2)-ア 通年	(1)-ア 真田氏ゆかりの自治体「真田フォーラム」の実施1企画 (1)-イ 真田街道推進機構及び真田氏ゆかりの自治体でのスタンプラリーの実施1企画 (2)-ア NEXCO東日本と連携した誘客の取り組み等実施1企画	(1)-ア 真田氏ゆかりの自治体「真田フォーラム」の開催〔平成28年4月23日(土)〕 (1)-イ 真田関連自治体スタンプラリー実施(真田街道推進機構等)、長野市との連携(上田-松代スタンプラリー)を通年実施。 (2)-ア NEXCO東日本との連携として、東部湯の丸サビミア下り線で真田丸に特化したコンセプトの臨時観光案内所が開設され、上田市観光パンフレット等の設置を実施。	(1)-ア 真田氏ゆかりの自治体「真田フォーラム」H28.4.23(土)を開催し、更なる連携強化や気運向上に繋げることができた。 (1)-イ 真田関連自治体スタンプラリーの実施として、真田街道推進機構では2,361人の抽選応募、長野市との連携(上田-松代スタンプラリー)として約2,500人の景品引換えがあった。 (2)-ア NEXCO東日本との連携として、東部湯の丸サビミア下り線で真田丸に特化したコンセプトの臨時観光案内所が、4/15～12/11に開設され、上田市観光パンフレット等の設置を実施し、37,500人の来館があった。		
観光広域連携事業の取組み (1)北陸地域での信州上田の知名度の向上と誘客の促進 ア 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議の平成28年度集中プロモーション事業の展開 イ 北陸地域での定住自立圏域等との共同観光PRの実施 (2)松本市との観光連携事業の展開 ア FDA利用促進を見据えた上田-松本間の観光路線バス運行 (3)観光連携組織(信州シルクロード連携協議会、忍者協議会、昇龍道プロジェクト推進協議会等)との取組み	(1)-ア 通年 (1)-イ 通年 (2)-ア 通年 (3) 通年	(1)-ア 集中プロモーション事業の実施1企画 (1)-イ 共同観光PRの実施1企画 (2)-ア 観光路線バス運行の実施 (3) 観光連携組織との事業展開	(1)-ア 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議の集中プロモーション事業のとして、平成28年度中に沿線都市を巡るスタンプラリー企画実施に向けた検討会議〔幹事会、総会・サミット、共同研究会〕を実施。 (1)-イ 広域連合共同キャンペーン実施(金沢駅・8月11日)、定住自立圏共同キャンペーン(東部湯の丸SA・7月23日、上里SA・8月27日)を実施。 (2)-ア 上田-松本直行バス通年運行(4月～土日祝日、8月は平日含む)の実施。 (3) 観光連携組織との事業展開として、各組織(上小温泉協会、信州シルクロード連携協議会、忍者協議会等)通年活動実施。	(1)-ア 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議の集中プロモーション事業 平成28年度中に沿線都市を巡るスタンプラリー企画実施に向けた検討会議〔幹事会5/19、共同研究会7/25、8/17、総会サミット8/26〕 (1)-イ 広域連合共同キャンペーン(金沢8/11～12、銀座NAGANO11/12～13)、定住自立圏共同キャンペーン(東部湯の丸SA7/23、上里SA3/18) (2)-ア 上田-松本直行バス通年運行(4月～土日祝日、8月は平日含む) (3) 各組織通年活動実施(上小温泉協会6/29、信州シルクロード連携協議会4/25外2回、忍者協議会4/25等)		
インバウンドへの取り組み (1)外国人観光客受入体制の整備 ア 官民連携によるインバウンド推進組織の活動運営 イ 外国語版ホームページの運営 ウ 外国語観光パンフレットの配布設置 (2)外国からの観光客誘致 ア 外国旅行エージェントへのPR イ 海外での観光PRの実施検討	(1)-ア 通年 (1)-イ 通年 (1)-ウ 通年 (2)-ア 通年 (2)-イ 通年	(1)-ア 官民連携によるインバウンド推進組織の活動運営 (1)-イ 外国語版ホームページの運営 (1)-ウ 外国語観光パンフレットの配布設置 (2)-ア 外国旅行エージェントへのPR (2)-イ 海外での観光PRの実施検討	(1)-ア インバウンド推進組織活動実施の検討(インバウンド・ミーティング) (1)-イ 外国語版ホームページの運営 (1)-ウ 外国語観光パンフレットの配布設置(シカゴ・ル外5ヶ国) (2)-ア 外国エージェントへのPR実施に向けた検討。 (2)-イ 海外での観光PRの平成28年度内実施に向けた検討(台湾又はタイ等)。	(1)-ア インバウンド推進組織活動実施検討(インバウンド・ミーティング1/30・セミナー3/13を実施)。 (1)-イ 外国語版ホームページの運営した。 (1)-ウ 外国語観光パンフレット配布(シカゴ・ル外5ヶ国)。 (2)-ア 外国エージェントへのPR実施に向けた検討(金沢や横浜での商談会への参加)。 (2)-イ 海外での観光PRの平成28年度内実施に向けた検討(台湾高雄物産展の参加1/21～1/22)。		
観光誘客宣伝の強化推進 (1)信州上田おもてなし武将隊を活用した観光PR活動 (2)首都圏、関西方面での観光PR活動 (3)上田城大阪城友好城郭提携10周年記念事業の開催 (4)首都圏方面でのラッピングバスの運行	(1) 通年 (2) 通年 (3) 通年 (4) 通年	(1)上田城でのおもてなし300日 (2)PR事業1回以上実施 (3)10周年に係る関西地域での観光PR1回以上 (4)高速バス・ラッピング事業の1企画	(1) 信州上田おもてなし武将隊の上田城でのPR活動177回 (2) 首都圏、関西方面等のPR活動 7回実施。 (3) 上田城大阪城城郭提携記念事業の10月実施に向けた検討。 (4) PRラッピング〔上田 池袋・立川高速バス、大阪市営バス〕通年実施。	(1) 信州上田おもてなし武将隊の上田城でのPR活動335回 (2) 首都圏、関西方面等のPR活動 20回実施。 (3) 上田城大阪城城郭提携記念事業実施(大阪市・10/10) (4) PRラッピング〔上田 池袋・立川高速バス、大阪市営バス〕通年実施した。		
上田市観光コンベンション協会組織体制の強化等 (1)現観光コンベンション協会のあり方の検討 (2)観光推進法人の設立	(1)(2)平成28年度中	(1)(2)平成28年度中に法人化。	(1)(2)法人化に向けた継続的な検討を実施中。	(1)(2)平成29年度から法人化に向けた継続的な検討を実施。 平成29年4月3日設立予定。		
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題			

重点目標		中心市街地の活性化と中心商店街への回遊促進		部局名	商工観光部	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 3 訪れたい・住みたいうえだ戦略 【施策体系】 地域資源を生かした知名度アップと交流促進	2014市長マニフェスト における位置付け		1	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな中心市街地活性化拠点施設として、うえだ原町一番街商店会内に「真田十勇士ガーデンプレイス」を整備し、平成28年3月にオープンしたところであり、誘客のためには原町・海野町・松尾町・天神の4商店街振興組合等の連携・協力が不可欠です。</li> <li>NHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、上田市を訪れる観光客が増加していることから、中心市街地活性化拠点施設としての池波正太郎真田太平記館の魅力発信と来館者増加に取り組み観光客の回遊を図る必要があります。</li> </ul>						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>池波正太郎真田太平記館と真田十勇士ガーデンプレイスが連携して、中心商店街への誘客を図ることにより、まちなかの賑わいの創出を図ります。</li> <li>池波正太郎氏及び池波正太郎真田太平記館の魅力を発信し、来館者の増加と観光客の回遊を促進します。</li> </ul>						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
商工団体及び商店街等の連携による真田十勇士ガーデンプレイスへの誘客 (1)信州上田大河ドラマ館などの各施設への紹介パンフレットの配置 (2)SNSなどを活用した情報発信 (3)イベント広場における定期的なイベントの実施 (4)展示内容の随時見直しと充実	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～11月 (4)4月～3月	真田十勇士ガーデンプレイスに関する情報発信を積極的に行うとともに、定期的にイベントを開催することにより、年間来場者数43,000人	(1)大河ドラマ館などの各施設にパンフレットを配置 約10,000部配布 (2)5/16ツイッターによる情報発信開始、ツイート296、フォロー306 (3)イベントの実施及び実施支援 61回 集客数6,630人 (4)戦魂特別展 3/26～4/16、戦国BASARA真田幸村伝特別展 4/23～9/25、映画「真田十勇士」展 8/8～10/31、戦国無双～真田丸～特別展 11/20～3/31 上記(1)～(4)などの取組を通じて、真田十勇士ガーデンプレイスの来場者数は43,022人	(1)春の企画展 3/26～5/29 入館者数 15,029人 夏の企画展 6/18～8/28 入館者数 12,163人 秋の企画展 10/8～12/11 入館者数 11,699人 冬の企画展 1/4～2/26 入館者数 2,789人 年間入館者数 H27 43,686人 H28 54,172人 (2)図録の改訂終了 3/2販売開始 (3)「映画 真田十勇士展」9/3～10/2 入館者数 5,615人 (4)LED化40個 6/15実施済み			
池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進 (1)企画展・写真展などの開催による事業の充実 (2)館の図録誌を発行し、館の魅力を発信 (3)周辺商店街との連携によるイベント開催 (4)常設展示室・ギャラリーの展示環境の整備	(1)4月～3月 (2)4月～9月 (3)4月～11月 (4)4月～7月	(1)企画展・写真展 4回開催 (2)図録版の改訂 (3)イベント1回開催 (4)常設展示室、ギャラリーの照明のLED化	(1)春の企画展 3/26～5/29 入館者数 15,029人 夏の企画展 6/18～8/28 入館者数 12,163人 (2)図録改訂作業中 進捗率70% (3)「映画 真田十勇士展」9/3～10/2 入館者数 5,615人 (4)LED化40個 6/15実施済み	(1)春の企画展 3/26～5/29 入館者数 15,029人 夏の企画展 6/18～8/28 入館者数 12,163人 秋の企画展 10/8～12/11 入館者数 11,699人 冬の企画展 1/4～2/26 入館者数 2,789人 年間入館者数 H27 43,686人 H28 54,172人 (2)図録の改訂終了 3/2販売開始 (3)「映画 真田十勇士展」9/3～10/2 入館者数 5,615人 (4)LED化40個 6/15実施済み			
魅力ある商店街づくり支援 (1)緊急空き店舗対策（店舗賃借料補助）等による中心商店街における空き店舗の解消 (2)商店街の主体的取組について、広報掲載や報道機関への情報提供などによる支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月	魅力ある商店街づくりを推進することにより、中心商店街における空き店舗数を36から31に解消、歩行者通行量22,800人以上（前年比3.8%増）	(1)テナント出店支援事業 補助金交付決定2件、緊急空き店舗対策事業 要綱（内規）を整備 (2)商店街のイベント等の広報掲載2回	(1)テナント出店支援事業 改修費補助4件、緊急空き店舗対策事業（賃借料補助）3件 (2)商店街のイベント等の広報掲載2回 上記(1)(2)の取組に加え、大河ドラマ「真田丸」の放送による効果もあり、中心商店街における空き店舗数は36から31に解消し、歩行者通行量は30,459人（前年比38.7%増）			
特記事項	市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		取組による効果・残された課題				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>信州上田大河ドラマ館や上田城跡公園からの中心商店街への回遊の促進を図ります。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>上田商工会議所、商店街及び関係団体と引き続き連携し、中心市街地の活性化を図ります。</li> </ul>				